



豊能町立とよの西学園

学校だより



令和8年(2026)年  
5月1日 NO.2  
校長 内野 慎也

学校教育目標 「なりたい自分を育てる学校」～自律・つながり・挑戦を育てる～

## ～離任式～「先生方 大変お世話になりました」

令和8年4月16日(木)、昨年度まで旧吉川小学校、旧東ときわ台小学校、旧光風台小学校、旧吉川中学校でお世話になり、ご退職されたり、他校に転勤になられたりした先生方をお呼びして「離任式」を行いました。総勢約40名の先生方との式となりました。1時間目に2年生から7年生の児童生徒と旧小学校でお世話になった先生方、2時間目に8年生から9年生の生徒と旧吉川中学校でお世話になった先生方に分けて体育館で行いました。それぞれの先生方から児童生徒に向けて「これからもがんばってほしいこと」「学校生活のなかで大切にしてほしいこと」等のとても温かく、心に響くメッセージをいただきました。どの学年の子どもたちも先生方との別れを惜しんでいました。この度、離任された先生方の新天地での益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



4月23日(木)・24日(金)・27日(月)・28日(火)

## 各ご家庭の所在地確認をいたしました

本校では、家庭訪問を行わず、関係教職員による各ご家庭の所在地を確認(チャイム等は鳴らさず、目視で確認)させていただくということを実施しております。お忙しい保護者のみなさまに、1年間で何度も学校行事のためにお時間を割いていただかないようにすること。また、教職員が4月という学期初めでさまざまな準備に追われている中、各ご家庭にお邪魔して、お話をさせていただくための準備や当日の時間を軽減できるようにすること等について考えた対応です。各ご家庭で児童生徒について気になることや担任や担当とお話したいことがございましたら、いつでも遠慮なく学校までご連絡ください。今後とも本校の学校教育活動へのご協力、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

## 第1回 授業参観・学級、学年懇談会ありがとうございます

令和8年5月1日(金)の3時間目から6時間目に第1回目の「参観ならびに懇談」を行いました。

4月から「豊能町立とよの西学園」としてスタートした本校。新しい環境で、児童生徒も教職員も慣れない中、少し疲れもたまってきたころではないかと思っています。そんな中で、どの学年も保護者の皆さんによいところを見せようと、一生懸命授業の課題に取り組んでいたと思います。各ご家庭でそれぞれの発達段階に応じて、「がんばっていた所・努力していた所」を伝えていただければ幸いです。

今年度は、授業参観・学級、学年懇談会を3回予定しております。そのうちの1回が終わりましたので、残り2回も是非ご参加いただき、児童生徒の日頃の学習の成果を見届けていただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

先生の紹介 どうぞよろしくお願い致します。

## 校内教育支援ルーム(ほっとルーム)支援員担当

## 『すぐーる』の使用方法について(お願い)

毎日の出欠確認等に使用していただいている「すぐーる」。欠席・遅刻・早退の連絡は、午前8時15分までお願いいたします。その時間を過ぎた場合は、お電話でご連絡ください。なお、出欠確認等の欄に学校へのご意見や要望等のご記入はお控えください。そうした場合は、連絡帳や電話での連絡をいただき、直接お話をさせていただければと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

## 【前期学部(1年生から4年生) コラム①】 ～遊びから学びへの変換へ①～

保育所や幼稚園から学校へ入学すると「遊びから学びへの変換」が、前期学部でも重要なテーマの1つとなります。子どもは本来、遊びの中で自然に多くのことを学びますが、それを意図的に“学び”へとつなげるのが教師の役割になります。まず前提として、教育学では「遊び=無目的な活動」ではなく、「主体的で意味のある経験」と考えられています。遊びを学びに変える基本の考え方は、「楽しい活動」→「気づき」→「言語化・整理」→「教科学習へ接続」という流れを作ることです。

具体的なステップとしては、①遊びを考える②気づきを引き出す問いを入れる③ふりかえりで言語化させる④教科の学習へつなげる(お店屋さん⇒算数、ブロック⇒図形・空間認識、鬼ごっこ⇒体育等)

あくまで遊びが主、学びは後から意味づけをします。こうしたことが「遊びから学びへの変換」へとスムーズに移行していくこととなります。(つづく)

